

職場における新型コロナウイルスの消毒について

ウイルスは人の手を介して汚染を広げていくため、各自の手洗い・手指消毒は感染対策の基本です。

また、多くの人が頻繁に触れる箇所を清掃・除菌し、環境を清潔に保つことも効果的です。

コロナウイルスはエンベロープ(脂質からなる二重膜)をもつウイルスで、界面活性剤入りの洗剤、アルコール製剤、次亜塩素酸ナトリウムなどで消毒できます。

清掃・除菌すべき箇所 (人がよく触れる箇所)



机・引き出し

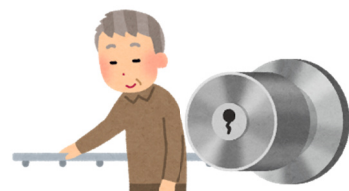


スイッチ・
押しボタン

蛇口



水洗レバー
ウォシュレットボタン
ペーパーホルダー
便座・便座カバー



ドアノブ
手すり

消毒の方法

- スプレー等による噴霧は、ウイルスをまき散らし、また吸引による健康被害もあり危険です。
- 消毒液を浸したタオル等で人がよく触れる場所を清拭します。
- タオルは一般的な雑巾がけと同じ程度に絞って拭きましょう。
- アルコール製剤以外の消毒薬で拭いた場合には、洗剤成分や匂いが残らないように水拭きを追加しましょう。
- 窓やドアを開け、換気しながら実施し、終了後も1時間程度開けておきましょう。
- 執務室や廊下の床や壁の消毒は不要です。

消毒液の作り方について

市販の漂白剤の濃度を確認し、水道水で薄めて使います。

原液の濃度と製品名	0.05%次亜塩素酸 ナトリウム液 (トイレ以外の清拭用)		0.1%次亜塩素酸 ナトリウム液 (トイレの清拭用)	
	原液	水	原液	水
1% ミルトン、ミルクポン等	約 50ml	1L	約 100ml	1L
5~6% ハイター、ブリーチ ピューラックス等	約 10ml	1L	約 20ml	1L
12% 業務用製品等	約 4 ml	1L	約 8ml	1L

その他の掃除用洗剤（マイペット等）は、製品の使用方法を確認し、必要に応じて薄めて（薄めなくて良いものもあります）使います。

水で薄めた消毒液は、時間がたつと濃度が低下してきますので、作り置きせずに当日使用する分だけを作るようにしましょう。

次亜塩素酸ナトリウムは、長時間放置しておくと金属を腐らせる可能性がありますので、消毒後 10 分程度で水拭きしましょう。

拭き掃除に用いたタオルや雑巾は廃棄せず、洗濯乾燥後に再利用しても大丈夫です。